

R6年1月放送分
「日米交流事業について」
(日本の防衛Q & A)
(自衛隊百科)

R5.12.22 収録

【パーソナリティー】

本日は、昨年7月の放送に引き続き「日米交流事業について」というテーマでお送りします。東北防衛局地方協力確保室の高橋さんからお話を伺います。よろしくお祈いします。

【高橋】

よろしくお祈いします。

【パーソナリティー】

では、「日米交流事業について」改めてその趣旨と、概要を教えてくださいいただけますか？

【高橋】

はい、当局で行っている日米交流事業とは、米軍基地が所在する市や町の地域住民の方に、米軍に対する理解を更に深めていただくために、米軍関係者と地域住民が交流して良好な関係を構築すること目的とした事業で、毎年実施しているものです。

東北地区では、青森県に米軍施設がありますので、青森県つがる市に所在する米陸軍車力通信所と青森県三沢市に所在する米空軍三沢基地の周辺で行っています。

昨年7月に、かかし作りを通じた交流プロジェクトを青森県つがる市で行い、米軍人と地元の小学生と一緒に「かかし」を製作しました。

つがる市立車力小学校では、5年生が稲作に関する授業を進めていて、田植えや稲刈りといった体験学習が行われますので、この授業に関連して、車力通信所の米軍人と一緒に「かかし作り」を体験するというものです。

米軍人も日本の稲作文化に触れながら、地元の児童と交流が図れると、毎年好評のイベントなんです。

今回は、日米合わせて35名が参加しまして、6グループに分かれ

て、思い思いの個性豊かなかかしを制作しました。

6体のかかしは、つがる市役所やつがる市北消防署に展示して、地域住民の方に投票していただいて、コンテストも行いました。

【パーソナリティー】

なるほど。子供は競争が好きですから、コンテストは盛り上がったんじゃないですか？

【高橋】

そうですね。大変盛り上がっていました。

コンテストの表彰式を9月21日に車力小学校の体育館で行ったんですが、金賞、銀賞、銅賞のほか、校長賞や車力通信所の指揮官賞を発表しました。

受賞後はグループのメンバー全員にインタビューを行いました。さながら、アイドルグループの選抜総選挙のようで、とても楽しかったです。

【パーソナリティー】

7月の放送では、児童と一緒に田植えをおこなったとお聞きしましたが、稲刈りもおこなったんですか？

【高橋】

はい、10月初旬の秋晴れの日、5年生の児童と米軍人のボランティアも含めて約30人で稲刈りを行いました。

稲刈りは初めてという人がほとんどだったため、地元の農家さんが鎌の使い方や稲の刈り方などをレクチャーしながら、約500平方メートルの田んぼの稲を刈りました。

【パーソナリティー】

そんなに広い田んぼでしたら、1日がかかりだったんじゃないですか？

【高橋】

稲刈りは体験学習ですので、1時間ほどやった後は、コンバインで全て刈り取りました。コンバインに体験搭乗も出来て、まるで、アト

ラクションを楽しむかのように、児童はもちろん米軍人も大喜びでした。

【パーソナリティー】

なるほど。

児童にとっては、米軍人と交流しながら、稲作の体験学習やかかし作りが出来たことは、きっと、心に残るものになったでしょうね。

【高橋】

はい。そうであれば幸いです。

【パーソナリティー】

もう一方の三沢基地の交流事業はこれからですよ。

【高橋】

はい。今年2月10日土曜日の9時30分から12時の間に、青森県三沢市に所在する三沢市国際交流スポーツセンターにおいて、日米交流「パラスポーツ運動会 イン ミサワ 2024」を計画しています。

昨年同様、日米の児童と保護者による混合チームを結成して、ボッチャや車椅子バスケットボール、車椅子リレーなど、障害者スポーツを体験しながら日米の交流を図りたいと思っています。

【パーソナリティー】

参加は誰でも出来るんですか？

【高橋】

青森県三沢市に在住の児童とその保護者の方でしたら、どなたでも参加できます。詳しくは東北防衛局のホームページやX（旧ツイッター）をご覧ください。か、三沢市の市民スポーツ課までお問い合わせ下さい。

【パーソナリティー】

いろいろなスポーツがある中で、障害者スポーツで交流することを計画したのはなぜですか？

【高橋】

はい、三沢市は障害者スポーツの拡充に特に力を入れていまして、会場の三沢市国際交流スポーツセンターは、東京パラリンピックの事前キャンプ地にも使用できるように整備した施設であり、障害者スポーツ用の備品が充実しているということです。

それと、スポーツで日米の交流を行う場合、どうしても体格差や経験の有無で、勝敗が偏りがちですが、障害者スポーツは、年齢や性別、経験などに関係なく平等にスポーツを楽しむことが出来るということが、もう一つの理由です。

【パーソナリティー】

納得しました。

スポーツ交流の他に、確か、ひな祭りの交流も実施していましたよね。

【高橋】

はい。今年3月2日土曜日の9時30分から12時の間に、青森県上北郡東北町に所在する東北町小川原湖交流センター「宝湖館」において、日米交流「ひな祭り イン トウホクタウン 2024」を計画しています。

こちらは、日本の伝統文化による交流で、日米の児童とその保護者がボトルランプや折り紙でひな人形を作ったり、琴や着付けの体験、餅つき体験でひな祭りを行い、日米の交流を図りたいと思っています。

【パーソナリティー】

こちらにも参加資格を教えてください。

【高橋】

はい、青森県上北郡東北町に在住する児童とその保護者の方でしたら、どなたでも参加できます。詳しくは東北防衛局のホームページやX（旧ツイッター）をご覧ください。東北町商工観光課までお問い合わせ下さい。

【パーソナリティー】

楽しそうな交流ですね。

やはり、ひな祭りは女性限定となりますか？

【高橋】

ひな祭りは、一般的には3月3日の桃の節句に、女の子の健やかな成長や幸せを祈って、お祝いをするものですが、当局の事業は日本の文化を体験しながら日米の交流を行うものですので、性別に関係なく実施しています。男子の参加も大歓迎です。

【パーソナリティー】

日米交流事業は青森県のつがる市、三沢市、東北町の3地区で実施しているということですか？

【高橋】

はい、その通りです。

限られた予算で米軍施設の周辺地域に限定しているため、大規模な事業には出来ないんですが、より多くの地域住民と米軍関係者に参加してもらえるよう、プログラムを工夫しながら、毎年実施していきたいと思っています。

【パーソナリティー】

本日は、日米交流事業について、高橋さんからお話を伺いました。ありがとうございました。

【高橋】

ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。